

デジタル変革への道: 大手医療テクノロジー企業が RPA を使用して自社を改革



課題

この企業のオートメーション導入プロセスは、医療機器メーカーから医療テクノロジーのグローバルリーダーへのデジタル変革の幅広い戦略の一部です。このオートメーション導入の一環として、この企業ではオートメーションを活用して、コストを削減し、すべてのビジネス機能の効率性を高め、エラーをなくし、反復作業から従業員を解放することで、従業員がより価値の高い作業に集中できるようにしたいと考えていました。

ソリューション

この企業では、金融、調達、人事、IT、研究開発などの分野における重要な機能を自動化するために、RPA ソフトウェア、コグニティブ機能、アナリティクス機能を含むオートメーション・エニウェアのデジタルワークフォースプラットフォームを使用しています。その変革のロードマップは、エンゲージメントを促進するための従業員のプレゼンテーション、意識向上のためのスタジオ品質のマーケティングビデオ、業績、プロジェクトのマイルストーン、オートメーション・エニウェアの RPA を介して可能になった顧客や従業員への新しいオファーを公開するためのニュースレター、マスコミュニケーションで構成されます。

メリット

65,000^人

オートメーションで仕事の遂行をサポートしてもらっている従業員

50

価値の高いタスクにアサインし直されたフルタイムの従業員の人数

89%

サイクルタイムの短縮

3~5 か月

複雑なビジネスクリティカルなプロセスのエンドツーエンドのオートメーションにかかった期間

自動化されたプロセス

- 調達から支払
- IT システムの更新
- データのクエリと分析
- 複数の事業部門の 100 個単位のプロセス

業界

ライフサイエンス

「当社の従業員は、オートメーション・エニウェアの RPA を使用することで、最も価値が高く、クリエイティブで革新的な仕事、つまり従業員が楽しみ、ベストを尽くすことができる仕事に集中できるようになりました。」

— Global Automation Services、ディレクター

熱意を持ったリーダーの参加

役員のリーダーシップによるトップダウンの戦略的なサポートは、社内全体の従業員の同意を得るうえで有効です。また、この企業ではスマートオートメーションのプロセス優先アプローチを採用することの重要性も学びました。RPAの導入を試みる前に、この企業では、最適化された成功を実現するために最も適切な機会を提示したプロセスはどれかについてを徹底的に調査しました。

イノベーションのペースが低下する兆候は見られないため、この企業は学習を全従業員の日常業務に組み込む必要があると確信しています。Amazon、Uberなどの業界を一新した企業がそうであったように、これまでにない新しいテクノロジーを適用する革新的なアプローチは、産業全体を予測できない方法で迅速に変えていく可能性があります。この企業は医療テクノロジー企業であるものの、きわめて競争の激しい市場で有利なポジションを維持し、発生する新たな機会を特定するために、AI、バーチャルリアリティ、拡張現実などの幅広い先進テクノロジーを常に調査しています。

結果

このオートメーションストーリーは、デジタル変革に関する事例です。この企業は、従来のRPAツールとコグニティブツールの両方から大きな利益が得ることができました。なかでも最大のメリットは、エンドツーエンドのプロセス全体の効率性が向上したことです。たとえば、5万人のユーザーに影響を与える1件のITへのリクエストの処理には、従来は数日かかることがありましたが、わずか数分で完了できるようになりました。製品ファミリーに関する顧客からの問い合わせには、数日ではなく数分で回答できるようになり、より肯定的な顧客体験を実現しています。コストが削減され、さらに50人以上の従業員がより高い価値のある作業を行うことができるようになりました。

今後の展望

RPAは、最も価値が高く、クリエイティブで革新的な仕事に専念できるよう従業員を継続的にサポートします。また、RPAやコグニティブ機能などの広範なソリューションの導入の成功およびデジタル化のための専用スペースの確立により、継続的なイノベーションの文化が育まれます。新たなRPA導入、技術提携、およびビジネスを推進するための部門を越えたアプローチの需要は、今後数か月から数年にわたり継続していくと考えられます。

「従来のRPAを使用すると、構造化された反復プロセスのエンドツーエンドのオートメーションによって効率性を最大化できるということがわかりました。コグニティブエージェントのような高度なツールを使用することで、ゲストWifiアクセスやコンピューター管理者権限のプロビジョニングなど、より複雑な作業のサイクルタイムを短縮することができました。」

ー リスクテクノロジーおよび実行担当ディレクター

Automation Anywhereについて

オートメーション・エニウェアは、人がアイデア、思考、フォーカスを用いて企業を強化できるように支援します。私たちは、世界で最も洗練されたデジタルワークフォースプラットフォームを提供し、ビジネスプロセスを自動化し、人を定型的な業務から解放することでよりよい仕事環境の実現を支援します。

製品に関するお問い合わせやデモをご希望の場合は、下記ホームページ、もしくはメールアドレスからお申し込みください。

Automation Anywhere  www.automationanywhere.co.jp

 @AutomationAnywh  www.linkedin.com/company/automation-anywhere  contact_japan@automationanywhere.com

Copyright © 2018 Automation Anywhere, Inc. All rights reserved. Automation Anywhere、Automation Anywhereのロゴ、Go Be Great、BotFarm、Bot Insight、IQ Botは、米国またはその他の国あるいはその両方で認められた商標登録です。本発行者におけるその他の製品名の記載は同定目的のためにいわれており、対応企業の商標登録である場合があります。

2018年7月、バージョン1

